

新潟県建築士会報 2026-8



今月の記事

- ・建築士の日事業・全県交流会 in 岩船
- ・新潟建築賞設計コンペ募集要項
- ・ヘリテージマネージャー勉強会
- ・こーひーブレイク
- ・活動報告
- ・定時総会、理事会
- ・主な会議報告
- ・行政等からのお知らせ
- ・会員ログイン情報
- ・会員情報

建築士の日事業&全県交流会 in 岩船 村上フォトクイズラリー

主管：新潟県建築士会岩船支部

この度、県北ブロックにおける建築士の日事業と全県交流会の同日開催で、『フォトクイズラリー』を行います。このフォトクイズラリー当日は、村上市内で「屏風まつり」の開催時期であり、歴史ある町屋の魅力を感じられる絶好の機会となっております。参加者の皆様には、巡回バスや徒歩で市内を自由に回っていただき、屏風まつりの雰囲気とともに、地域の建築や景観の魅力を存分に感じていただきたく思っております。皆さまの参加をお待ちしております。

日 時 令和8年10月3日（土） 10:30～16:00（10:00受付開始）

集 合 村上市町屋造観光案内所（村上市鍛冶町2-3）※駐車場あり

電車でお越しの方は村上駅から集合場所までバスで送迎いたします。（村上駅10:10発）

懇親会 割烹 鳴海 （村上市田端町13-10）

参加費 クイズラリー：500円、懇親会：7,000円

申 込 8月末日までに所属支部へお申し込みください。

内 容 フォトクイズラリーとは、地域の建築物や景観など、あらかじめ設定された複数のスポットを巡り、各スポットで指定された条件の写真を撮影するイベントです。スポットごとに点数が設定されており、獲得した点数に応じて景品をプレゼントします。なお、参加者全員に村上市内循環バスの1日乗車券を配布します。

詳細は<https://www.025arc.net/news/260722.html>



新潟建築賞設計コンペ募集要項

課題 復興のその先の建築 ― 糸魚川・駅北のこれからをつくる ―

本年度の新潟建築賞設計コンペは、「地域にフォーカス」第5弾として、糸魚川駅北大火から10年を迎える糸魚川駅北地区を対象に開催します。歴史や文化を受け継ぎながら、民間と行政がともに進めるこれからのまちづくりが求められています。本コンペでは、「まちなか大家族」をヒントに、人と人、人とまちがゆるやかにつながり支え合う新たな関係性を提案します。

既存の建物や場所、歴史や文化を活かしながら、新しい使い方や価値を見出す自由な発想を募集します。糸魚川のまちなかに、新しい暮らし方や関わり方が生まれるきっかけとなる提案を期待しています。

- 応募資格 どなたでも応募できます。 ※応募作品は1人(1グループ)1点まで
- 賞 審査員長賞 1点 賞金10万円 糸魚川賞 2点 賞金5万円
入賞 3点 賞金1万円 高校生賞 最大2点 賞金1万円
- 審査員長 河内 一泰 氏
- 応募締切 令和9年1月8日(金) (消印有効)

詳細は <https://www.025arc.net/activity/compe.html>



ヘリテージマネージャー勉強会 文化財って面白い！カトリック佐渡教会探検 ―歴史を刻む教会建築の建築的特色と文化財的価値―



佐渡両津には現役で使われている東日本最古といわれるカトリック佐渡教会があります。明治20(1887)年に上棟したこの教会の建築的な特色や歴史的・文化財的価値を学び、現地見学では139年の歴史を刻んできた教会建築の空間を体感してみませんか。また、歴史的建造物の文化財指定に向けた報告書の作成方法についても解説します。

日 時 令和8年10月24日(土) 12:45～15:00 (予定)
会 場 あいぽーと佐渡 多目的ホール (佐渡市両津夷384-11)
カトリック佐渡教会 勉強会・現地見学会

受講料 2,000円 (予定)

定 員 40名 ※定員になり次第締切ります。

申込方法 右記QRコードよりお申込できます。

詳細は<https://www.025arc.net/news/2608041.html>

申込みはこちら



詳細はこちら



こーひーブレイク

私たち建築士の仕事は、時に厳しい自然環境から人の暮らしを守る「シェルター」をつくることでもあります。同時に、その土地の美しい季節を室内に取り込む「繋ぎ手」でもあります。高気密・高断熱といった確かな性能で足元を固めつつも、窓を開けたときに広がる風景や風の通り道をどうデザインするか。数値だけでは測れない「心地よさ」の輪郭を日々模索しています。最近では設計では、画像生成AIやBIMを活用した自動生成ツールの進化が一段と目覚ましくなりました。「こんなイメージの家を」と条件を入力すれば、数秒でそれらしい空間デザインが提案される時代です。確かに便利なツールですが、だからこそ私たち建築士の「手と目」の価値がどこにあるのかを、改めて深く考える機会が増えました。そして、図面には表れない「職人の手の温もり」を引き出す現場監理。これらはどれだけAIが進化しても、代替できない領域ではないでしょうか。テクノロジーを賢く相棒にしつつも、人間にしかできない「泥臭くも愛おしいクリエイティブ」を大切にしたいものです。

技術教育委員会 福崎 哲也(中魚沼支部)

活動報告

☆関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会ぐんま大会

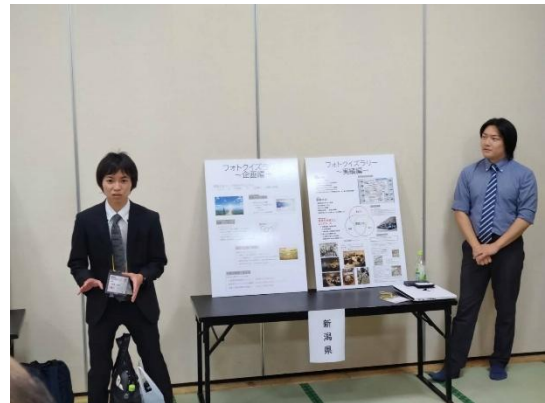
青年委員 水落 力也

令和8年6月19日、関ブロぐんま大会がホテル磯部ガーデンにて開催されました。本大会は関東甲信越10都県の建築士会会員が一同に集まり、各都県の活動を発表し合うことで互いに学び合い、自県へ持ち帰り今後の活動に生かすことや、会員同士の交流の場として開催されるものです。今回の大会テーマは「建築の芽を育んべえ」で、



300名を超える参加者がありました。地域実践活動報告ではテーマに沿って、1都9県による発表が行われ、どの発表もとても勉強になる内容でしたが、印象に残った発表の一つとして、自支部では会員不足で事業が組めず、全県横断的に会員を募って事業を開催し、今までボランティア色が強かった建築士会事業に参加費を徴収し対価を得るような試みを行った発表がありました。これは現在の建築士

会の会員不足でやりたい事業ができない等の問題を解決できる有用な手段だと思いました。閉会式では連合青年の活動報告、各分科会の講評、地域実践活動の表彰式が行われ、最優秀賞には、空き家活用プランを地元中学生とともに考え、空き家所有者へ提案する活動を発表した長野県が選ばれました。また、関ブロ青年協谷会長より全体講評が行なわれました。併せて、長野県建築士会所属で関ブロ青年協高柳新会長への交代が報告され、着任の挨拶および関ブロ青年協の新理事の紹介が行われました。その後、令和9年6月19日に予定される関ブロ山梨大会のPRもあり、盛会のうちに閉会となりました。今回の大会を通じて、他県の会員の方がそれぞれ抱えている悩み事や事業のお話が聞くことができ、大変有意義な自己研鑽の場となりました。また、自県の仲間と一緒に参加できたことを大変うれしく思います。最後に大会を開催して頂いた関ブロ青年協、群馬県建築士会、大会関係者の皆さまに感謝の意を表しご報告とさせていただきます。



定時総会、第2回理事会を開催

7月30日（木）に新潟東映ホテルにて、令和8年度定時総会、第2回理事会が開催されました。

詳細は9月号会報にてご報告いたします。

主な会議報告

◆第20回広報委員会(7月16日(木))Zoom

①会報8月号掲載記事 ②R9.1月からの会報

◆第9回事業委員会(7月13日(月))建築士会内会議室

① 建築士の日事業 ②事業企画

行政等からのお知らせ

☆新潟県木造住宅耐震改修事業者講習会

(新潟県耐震改修促進協議会からのお知らせ)

日 時：令和8年10月20日（火）10：00～16：00
会 場：米百俵プレイス ミライエ長岡 西館5階（定員50名）
受講料：3,000円 ※テキスト代は別
詳細は <https://www.025arc.net/news/2607211.html>



☆新潟県木造住宅耐震診断講習会

(新潟県耐震改修促進協議会からのお知らせ)

日 時：令和8年11月19日（木）10：00～16：30
会 場：新潟県立生涯学習推進センター 2階大研修室（定員100名）
受講料：3,000円 ※テキスト代は別
詳細は <https://www.025arc.net/news/2607212.html>



ホームページ 会員専用ログイン情報のお知らせ

【令和8年8月16日～令和8年9月15日の会員専用ログイン情報】

ユーザー名 20260816 パスワード UMI（うみ）

会 員 情 報

新入会員の紹介

<三 南> 西村 郁夫さん <長 岡> 阿部 憲介さん
<中魚沼> 富井 孝幸さん <上 越> 坪井 義則さん

お詫びと訂正

7月号のおくやみにつきまして、氏名に誤りがございました。正しくは、つぎのとおりです。お詫びして訂正いたします。

【誤】杉田 政之 様 → 【正】杉田 政男 様

今月の写真～柏崎支部～「2025 柏崎お仕事体験塾に出店」

「柏崎で働く大人の想いにふれ、未来の柏崎をつくろう！」をテーマに、「お仕事体験塾」がお盆を終えた昨年8月24日（日）に開催されました。建築士会柏崎支部は7回目の出店となります。案内チラシでは「模型を作り地震に強い建物のしくみを学び、いろいろな住宅模型作りにも挑戦」とPRし、「紙ぶるる&住宅模型」の体験を行いました。はじめに支部長から体験内容や建築士の仕事について説明しました。建築士は資格の種類によって携わる業務範囲が決められていることや、さまざまな職種の仕事にかかわっていることを説明し、一級建築士免許証も披露しました。また、図面の縮尺については、実寸法100cmを1cmで描く基本的な縮尺「S=1/100」を、実寸法図と住宅模型、街並みを使って説明しました。体験は自己紹介からスタート。その後、「紙ぶるる」を使って、地震に強い建物の仕組みである「筋交い」について学びました。中越沖地震や能登半島地震の展示資料も紹介し、筋交いが建物の被害を減らすことについて説明しました。続いて、住宅模型作りに挑戦し、完成品を街並みに配置してみんなで眺めました。小学4年生にはハードルが高かった模型作りも「頑張ってよかった！」「来年も参加したい！」という声も聞かれました。一日緊張の連続ではありますが、子どもたちの真っ直ぐな気持ちと笑顔に、大人もいい汗をかく楽しい活動です。8回目となる今年も8月23日に出店します。

柏崎支部 内山 八代栄

令和8年8月1日発行

公益社団法人新潟県建築士会 〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 県公社ビル3階

TEL 025-378-5666 FAX 025-285-2911 E-mail kensikai@025arc.net

URL <https://www.025arc.net/>